

2019年11月29日

各 位

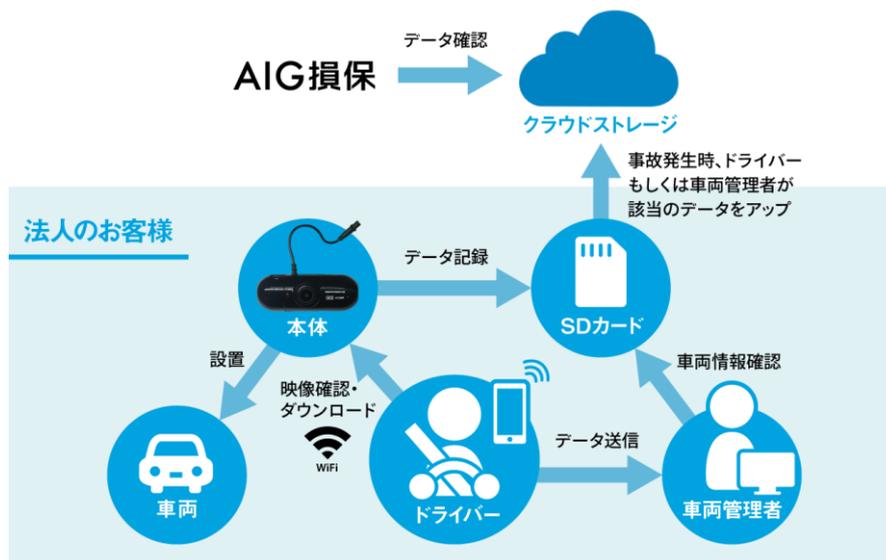
会 社 名 株式会社スマートバリュー
 代 表 者 名 代表取締役社長 渋谷 順
 (コード番号：9417)
 問い合わせ先 取締役管理部門統括 藤原 孝高
 TEL. 06-6448-1711

安全でスピーディーな損害確認の実現へ

法人に特化したスマートフォン連動型ドライブレコーダー

「スーパードライブガード アイ (SDG Eye)」の提供開始

株式会社スマートバリュー（本社：大阪府大阪市、代表取締役社長：渋谷 順、以下：スマートバリュー）は、AIG 損害保険株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長兼 CEO：ケネス・ライリー、以下：AIG 損保）のお客様向けに、2018年4月より提供している IoT サービス（以下：テレマティクスサービス）「スーパードライブガード (SDG)」^(※1) のオプションとして、2019年12月1日（日）より、スマートフォンと連動したドライブレコーダー「スーパードライブガード アイ（以下：SDG Eye）」の提供を開始します。



近年、法人のお客様を中心に、事故時の損害確認をスピーディーに進め、事故解決に要する時間短縮を望む声が増えています。そこでスマートバリューは、法人のお客様の利便性を追求した AIG 損保専用のドライブレコーダー「SDG Eye」を開発し、提供を開始します。

従来のドライブレコーダーでは、事故時の損害確認の際、映像を SD カードへ保存し保険会社へ郵送する作業が発生し、時間がかかっていました。「SDG Eye」では、SDG Eye に搭載された Wi-Fi を使用し、映像データをスマートフォンから直接 AIG 損保のクラウド型データストレージへ送信するため、保険金支払いまでの時間を短縮することが可能となりました。また、SD カードの紛失リスク軽減にもなり、データの安全性確保等データセキュリティの向上につなげることができます。

今後導入が進む第 5 世代モバイル通信サービス (5G) により、「高速大容量」通信を使用したドライブレコーダーの映像の伝送が可能となります。

スマートバリューは、あらゆるものがインターネットにつながる IoT 時代に合わせ、「多数同時接続」を生かす高度化した安全運転支援サービスを考案し、自動車保険に付帯される新たなサービスを提供してまいります。

【SDG Eye (ドライブレコーダー) に関して】



- ・前方撮影
- ・スマートフォン連動モデル
- ・モニター無しの録画に特化した SD カードフォーマット (初期化) フリーモデル
- ・Wi-Fi を活用し、スマートフォンから映像 (動画) 視聴可能

《法人に特化した SDG Eye の特徴》

- ・映像データの保存に必要とされていた SD カードの定期的なフォーマットが不要となるため、データの保存漏れリスクの減少
- ・モニター無しタイプのため、故障リスクの軽減
- ・3 年保証により、万一の際には修理ではなく交換が可能

※1 : スーパードライブレコーダー (SDG)

2018 年 3 月の業務提携にもとづき、スマートバリューが開発・提供してきた法人向けテレマティクスサービスに、AIG 損保の持つ知見をもとに独自機能を付加し、共同開発した法人向けテレマティクスサービス。

利用者の走行データを収集・分析し、それに基づいたレポートを提供。

【本件に関するお問い合わせ先】

株式会社スマートバリュー 社長室 Division 広報 Team 山盛

TEL : 06 - 6448 - 1711 MAIL : info@g.smartvalue.ad.jp

お問い合わせフォーム : <https://www.smartvalue.ad.jp/cgi-bin/inquiry.php/1>